

科目名 Course Name	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ Seminar of Social Work (Expert)Ⅱ				ナンバリング No.	I3-006	
年次	2 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	ソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ①ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養うことができるようにする。 ②分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に述べるができるようにする。 ③ 地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に例証できるようにする。 ④ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に利用できるようにする。 ⑤実習を通じて体験した事例検討や事例研究を行い、その意義、方法を具体的に説明・記述できるようにする。 ⑥スーパービジョンを体験する。						
授業の方法	テーマに応じた小講義後、個人ワーク、グループワーク(ロールプレイング等)等により授業を展開する。演習後には小レポートやディスカッションで振り返りを行う。						
学習成果	L01	専門職としての基礎的な知識・態度を身につけることができる。					
	L02	自分や社会への理解を深め、実践に応用するスキルを身につけることができる。					
	L03	事例検討・事例研究において、総合的・包括的に捉えることができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業終了後の振り返りシートにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書／ 参考図書	教科書:「学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習」ソーシャルワーク演習研究会/ミネルヴァ書房						
履修上の留意点 やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	1 回 3 点とし、毎回評価する。授業の準備を整え、遅刻せずに出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。以上が達成されない場合には減点対象とする。	45					
レポート／作品	毎回のワークシート及び振り返り、技術の定着度を評価する。			40			
発表							
小テスト	知識・技術の確認のための小テストを行う。		15				
試験							
その他							
合 計		45	15	40			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、ソーシャルワーカーに求められる倫理
	事前・事後学習	テキストを購入し目次を読んでおく
2	授業内容	児童虐待の被害者に対する支援①【演習:グループワーク】ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング
	事前・事後学習	「児童家庭福祉」テキストの児童虐待防止該当ページを読んでおく。
3	授業内容	児童虐待の被害者に対する支援②【演習:ロールプレーイング】支援の実施
	事前・事後学習	事前:自分の家族にシステムについて事前課題を実施する。 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
4	授業内容	児童虐待の被害者に対する支援③【演習:グループワーク】モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア
	事前・事後学習	事前:虐待事例と社会問題を結び付け説明できるようにしておく 事後:振り返りレポートを作成する
5	授業内容	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握
	事前・事後学習	事前:居住地社会福祉協議会HPを参照し、行われている事業を確認する 事後:居住地の地域課題を抽出する
6	授業内容	地域アセスメント、地域福祉計画(ファシリテーション、アウトリーチ)
	事前・事後学習	事前:居住地の地域福祉計画を取り寄せ、読んでおく。 事後:小テストの事前学習
7	授業内容	組織化(モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア、サービス評価)
	事前・事後学習	モニタリングの意義と流れを確認しておく
8	授業内容	貧困に対する支援①【演習:グループワーク】ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング
	事前・事後学習	事前:「社会保障」テキスト第2章を読んでおく 事後:演習の振り返りレポートを作成
9	授業内容	貧困に対する支援②【演習:ロールプレーイング】支援の実施 コーディネーション
	事前・事後学習	前回事例と演習の流れを確認しておく。
10	授業内容	貧困に対する支援③【演習:グループワーク】モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア
	事前・事後学習	事前:前回演習を振り返り、モニタリングのポイントを挙げておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
11	授業内容	認知症高齢者虐待に対する支援①【演習:グループワーク】ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング
	事前・事後学習	事前:ソーシャルワークの展開を説明できるようにしておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
12	授業内容	認知症高齢者虐待に対する支援②【演習:ロールプレーイング】支援の実施 ネットワーキング、チームアプローチ
	事前・事後学習	事前:ソーシャルワークの理論と方法テキストでネットワーキングについて確認しておく 事後:小テストの事前学習
13	授業内容	認知症高齢者虐待に対する支援③【演習:グループワーク】モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア、小テスト
	事前・事後学習	一連の演習を振り返り、モニタリングのポイントをあげる
14	授業内容	障害者虐待に対する支援①【演習:グループワーク】グループ毎の事例検討
	事前・事後学習	事前:事前配布事例を読んでおく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
15	授業内容	障害者虐待に対する支援②【演習:グループワーク】グループ毎のプレゼンテーション発表 まとめ
	事前・事後学習	プレゼンテーション準備